



春の交通安全運動 「安全の見守り」

4月7日

【問合先】生活安全センター交通防災係 ☎②7777



三笠小学校前で西城市長をはじめ三笠市交通安全推進協議会会員など42人が集まり、新入学児童初登校に合わせ「安全の見守り」を行い、登校する児童に交通安全を呼び掛けました。

呼び掛け実施前に、岩見沢警察署石浦署長と、三笠小学校岡山校長から「多くの地域のかたがたに子供たちを見守っていただけていると心強く感じており、これからもよろしくお願ひします」などとあいさつがありました。

曇り空の中、徒歩やバスで登校してくる児童は、見守る会員たちに「おはようございます」とあいさつをしながら元気に登校していました。

平成29年度 少年消防クラブ入会式

4月9日

【問合先】消防署消防係 ☎②3499

消防本部で少年消防クラブ入会式が行われました。

このクラブは、小学校4年生から6年生で構成され、小さなときから防火に対する知識を高めてもらうため、消防施設・消防車両の見学、規律訓練や火災・地震時の避難方法など冬季研修会(1泊2日)を含む全6回の活動を1年間にわたって予定しています。今年度は新4年生11人が新に入会し、総勢36人の少年消防クラブとなりました。

クラブ員の証となるバッジの交付は、三笠小学校4年の阿部天(てん)くんが代表して受け取り「私は火の用心につとめます」「私はたがいに助け合います」など「七つの誓い」をクラブ員全員で朗読しました。

最後は、新クラブ員に先輩クラブ員がバッジを胸に付けてくれ、嬉しさ半分、緊張半分の様子でしたがキリッとした表情が見られました。



石炭地下ガス化 研究報告会

3月30日

【問合せ先】政策推進課政策推進係 ☎②3182

石炭地下ガス化研究報告会(室蘭工業大学環境科学・防災研究センターと三笠市が主催)を開催し、市内外から約180人が参加しました。

報告会では、実験や研究がどのように行われているのか、地下ガス化によって生じる生産ガスの安全性、エネルギー活用の実用化に向けた今後の計画などを報告していました。



小学生が サケの稚魚を放流

4月10日

【問合せ先】学校教育課学校教育係 ☎②2197

幾春別川新本郷橋付近で市内小学生がサケの稚魚の放流を行い、岡山小学校の全校生徒42人と三笠小学校の3年生37人が約400匹のサケの稚魚を放流しました。

この放流は、水辺環境の保全の大切さについて理解を深めることを目的として、毎年この時期に行われています。

参加した児童たちは「元気で帰っておいでね」「戻ってくるんだよ」などと声を掛け、コップに入ったサケの稚魚を川に放流していました。



空知FCガールズ、篠田さんが 全国大会出場を教育長へ報告

2月21日・24日

【問合せ先】社会教育課生涯教育係 ☎②3591



左から、大村璃緒さん、清野未来さん、清野未夢さん

2月21日に空知FCガールズが第6回びわ湖カップなどでしこサッカー大会(東日本大震災で被害を受けた東北3県の復興や支援を目的に毎年開催されている大会)に3年連続出場決定と、24日は篠田萌奈さん(三笠小1年)がピアノで第7回日本バツハコンクール全国大会で銀賞を受賞したことを、それぞれ永田教育長に報告しました。

空知FCガールズは、南空知地域の女子小学生で構成されているサッカーチームで三笠市から参加している清野未来さん(三笠小6年)、大村璃緒さん(三笠小5年)、清野未夢さん(三笠小4年)は上位



篠田萌奈さん

を狙いたいと意気込みを話してくれました。結果、参加32チーム中19位と健闘しました。

篠田萌奈さんは、昨年12月25日に開催された第7回日本バツハコンクール札幌地区大会で優秀賞を受賞し、全国大会出場を決めました。

第7回日本バツハコンクール全国大会は、全国36地区で地区大会が行われ幼児から一般まで総勢4,426人が参加しました。

各地区の年代別で優秀賞に選ばれた方が出場した全国大会で、篠田さんは見事銀賞を受賞しました。